

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府泉南市泉州空港南1	氏名	ロイヤルインフライトケイタリング株式会社 代表取締役社長 梅津 光浩
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		1、航空機内食の調整・販売及び搭載 2、食品（弁当など）の販売 倉庫業 3、保税		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間		2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)	
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3,357 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		3,728 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		3,200 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		3,571 t-CO ₂	
	選択	目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	4.7 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	4.2 %

目標削減率に関する考え方

当社は機内食を販売しており食数とエネルギー量が比例するように単位を排出設定し目標年度である32年において大阪府内において温室効果ガスを4.7%原単位ベースで削減する目標を掲げるとともに総排出量も削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (食数)
 (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

月次のミーティングでエネルギー使用量の公表と各部門から年間目標を掲げてもらい掲示を行う。

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市北区中之島5丁目3番68号	氏名	株式会社 ロイヤルホテル 代表取締役社長 蔭山 秀一
特定事業者の主たる業種		75宿泊業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		宴会場・客室・レストラン・プール・販売店他を持ちサービス業を運転		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2018 年	4 月	1 日	～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		25,602 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		27,417 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		24,841 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量 (平準化補正後))		26,602 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

毎年、運用面の改善や機器更新などを行い省エネおよびCO₂排出量の削減に努めています。その結果、前期計画では最終年度に基準比91.7%と大きく削減出来ましたが、LED更新やターボ冷凍機更新など削減効果の大きい対策はすでに実施しているため、今計画の目標は年1%削減、計画期間で3%削減を目標と致します。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

毎月、各部署別に動力光熱費(電気・ガス・水道の使用量)の分析表を配信し、全社的なエネルギーの合理化を推進すると共に、エネルギー管理標準を基として、地球温暖化防止に努めている。

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府大阪市生野区巽西1-8-1	氏名	ロート製薬株式会社 代表取締役会長兼社長 山田 邦雄
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2018 年	4 月	1 日	～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量			3,177 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)			3,528 t-CO ₂
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)			3,080 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))			3,419 t-CO ₂
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.1 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.1 %

目標削減率に関する考え方

原油換算量を1500kL未満まで抑えることを目標としています。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t -CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	--------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

エネルギー基本方針に基づき、主に総務グループ及び生産技術部にて担当し、無駄を省く省エネ活動を従業員と共に進めます。また、毎月エネルギー消費分析会を継続的に行っています。